

日本物理教育学会 ニューズレター



2014年度日本物理教育学会年会 第31回物理教育研究大会について

2014年度日本物理教育学会年会・第31回物理教育研究大会を、下記の日程で開催いたします。なお、学会誌『物理教育』62巻1号の巻頭の緑色の頁に詳細がありますので、あわせてご覧ください。

【日程】8月11日(月)～12日(火)

【場所】電気通信大学(東京都調布市)

【大会テーマ】「物理をどう教えるか」

【参加申込み】受付期間：6月2日(月)～7月14日(月)

※ 参加は大会当日でも受け付けますが、準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

【発表申込み】受付期間：6月2日(月)～6月30日(月)

※ 発表(原著講演・ポスターセッション)を希望される方は、6月30日(月)までに参加申込みもしてください。

※ 予稿原稿の送付締め切りは、7月7日(月)厳守です。

※ 発表資格は、本会正会員および入会申請中の方、日本物理学会会員、応用物理学会会員です。

【大会ウェブサイト】<http://pesj2014.g-edu.uec.ac.jp>

プログラム、連絡事項、その他、最新情報を掲載します

【連絡用メールアドレス】pesj2014@g-edu.uec.ac.jp

問い合わせ、発表・参加申込、予稿送付等の連絡はこちらへ

入試懇談会(東京)開催のお知らせ

物理教育学会関東地区連絡会では、入試検討委員会と共催で、今春の物理入試問題を素材として、関連する問題点などについて、高校～大学間での話し合いを下記の要領で開催いたします。

【名称】第23回(2014年度)今春の物理入試問題についての懇談会(東京)

【期日】5月24日(土)13:30-18:00(予定)

【場所】筑波大学附属駒場中高校50周年記念会館

【主催】日本物理教育学会関東地区連絡会

【共催】日本物理教育学会入試検討委員会

詳細は学会HP、ニューズレター等にて再度お知らせいたします。

【連絡先】駒場東邦中高校 物理 井上 賢

(E-mail : phyinoue@komabajh.toho-u.ac.jp)

物理教育に関連する イベントカレンダー

2014年5月24日(土)
第23回今春の物理入試問題についての懇談会(東京)
於 筑波大学附属駒場中高校

2014年6月2日(月)～30日(月)
第31回物理教育研究大会
発表申込み期間

2014年6月2日(月)～7月14日(月)
第31回物理教育研究大会
参加申込み期間

2014年7月7日～12日
GIREP-MPTL 2014
於 Palermo, Italia
<http://www.unipa.it/girep2014/index.html>

2014年8月10日(日)
日本物理教育学会評議員会
於 電気通信大学

2014年8月11日(月)・12(火)
第31回物理教育研究大会
於 電気通信大学

2014年8月18日(月)～22日(金)
物理教育国際会議 ICPE2014
於 Cordoba, Argentina

学会関連イベントは、以下のサイトでも紹介しています
<http://pesj.jp/event>

日本物理教育学会九州支部設立のお知らせ

去る2014年3月15日(土)に、九州支部の設立総会が福岡で開催されました。初代の支部長には久留米工業大学の巨海玄道先生が就任し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、及び沖縄の8県の会員の皆様を中心に、新たに本学会の支部としての活動が開始されました。詳しくは以下の九州支部HPをご覧ください。

<http://artsci.kyushu-u.ac.jp/pesj-kyushu/>

2014年度教科「理科」関連学会協議会(CSERS)シンポジウムのお知らせ

2014年度教科「理科」関連学会協議会(CSERS)シンポジウムが、以下のように開催されます。

【テーマ】高等学校理科で何を学ばせるか

—総合的な科目の可能性と課題—

【開催趣旨】

高等学校では新学習指導要領の学年進捗が第3学年にまで達し、すべての学年で新教育課程での授業が行われるようになりました。

CSERSでは、この度の学習指導要領改訂に対応し、2012年には「小学校学習指導要領になってからの一年」、2013年には「新学習指導要領は中学校理科をどう変えるか」をテーマにシンポジウムを開催してきました。

今回は、高等学校理科に設けられた総合的な科目「科学と人間生活」を中心に、高等学校における科目設定のあり方について、その歴史の変遷と教師による評価、高等学校での実践、将来構想の各観点からご講演いただくことにしました。

今年度には学習指導要領の改訂準備が始まること予想されています。多くの方の参加を得て、高等学校の次期学習指導要領改訂を見据えた論議を期待いたします。

【日時】5月17日(土)12:50~17:00(12:30開場)

【会場】公益社団法人 日本化学会化学会館

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話 03-3292-6161

【プログラム】

▶基調講演：鳩貝太郎氏(日本生物教育学会)

「高等学校学習指導要領理科の変遷」

▶講演：滝口耕平氏(館山総合高等学校(定時制)教諭)
「科学と人間生活」の実践から

▶講演：廣井禎氏(日本物理教育学会)

「理科I」終了時の調査から見た総合的な科目への課題、

▶報告：「4/29に開催される地球惑星科学連合大会で発表する次期学習指導要領改訂へのJpGU教育課程小委員会の取り組み」

▶総合討論

【その他】

参加費は無料です。シンポジウム終了後に、シンポジウムでの成果をより深めるために講演者を囲み化学会館内で懇親会を開催いたします。こちらにもご参加下さい。

【問い合わせ】CSERS事務局 間々田和彦

mamada@human.tsukuba.ac.jp

【CSERSの紹介】次のHPをご覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/CSERS>

特集：支部活動の紹介(東北支部)

各支部の日頃の活動の紹介をする特集を掲載しています。今月号は東北支部です。

東北支部は、故大貫裕司先生のご尽力により1985年1月に発足し、すでに29年目を迎えています。現在の会員総数は約150名です。年会費は、正会員(親学会員)1000円、準会員(支部のみへの登録)1500円です。昨年は3回目の主管となる夏の全国研究大会を仙台で開催することができ、その運営等を通じて全国の多くの会員の皆さまに東北支部の実情を感じていただけたかと思えます。

【支部理事会】

通常は年1回5月頃に開催しています。支部総会の議案審議が主たる内容です。

【支部総会】

例年6月頃に開催しています。当日は必ず特別講演会を催すなどして研修の場を設定しています。

【支部研究大会】

昨年で第28回目となりました。秋に開催しています。開催地は、仙台→福島→仙台→山形→仙台→・・・のようなローテーション制をとっています。原著講演、特別講演の他にシンポジウムを企画することもあります。1日行事です。

【支部会誌「東北物理教育」の発行】

秋に投稿を呼びかけて年度末に発行します。今年度は第23号です。

【支部通信の発行】

年4回発行しています。支部総会や研究大会の案内などの事務的連絡を目的としたものですが、毎回の巻頭言を多くの先生に持ち回りで執筆していただいております。中味より巻頭言が好評です(?)。

【その他】

今年度初めて「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 仙台」を12月に実施しました。来年もできるかどうかはわかりませんが、これも東北各地を持ち回る方向で考えていきたいです。

以上が東北支部の通常の活動です。どうしても活動の中心が仙台に偏ってしまいます。会員数も全体として伸び悩んでいます。最近の状況を反映して若手・新人の会員が増えているところもあります。まもなく30年目を迎えます。もしかしたら記念行事を企画するかもしれません。これらそれを機会に、より支部活動が活発になり、少しでも物理教育に寄与できることを願っております。今後ともよろしく願いたします。(文責：東北支部事務局 藤原 昇)

2014年度会費納入のお願い

本学会の会費は前納となっています。会費は正会員8千円、減免会費5千円、購読会員は1万円です。ご入金の際は、会員番号とお名前をご明記ください。「物理教育」各巻1号、2号綴じ込みの郵便払込取

扱票で納入の場合は、手数料は学会負担となります。ご利用ください。なお、銀行振り込みも可能です。詳細は、会誌62巻1号あるいは学会ホームページをご覧ください。

会員情報の変更をお知らせください

新しい年度となりました。住所変更、勤務先変更、メールアドレス変更などがある場合は、お手数でも学会事務局 (office@pesj.jp) 宛にメールでご連絡ください。

会誌の「編集方針」の掲載について

本学会の会誌は、物理教育に関する研究や意見を会員が発表する場として活用されること、物理教育を実施する上で有益な情報を会員に提供する場であることを目的としています。編集委員会では、この目的をより一層推進するために、本会誌の編集方針を具体的に文章化して会員の皆様にお示しすることにいたしました。この「編集方針」は会誌の62-1号に掲載され会員の皆様に明示される予定でしたが、校正ミスにより62-1号に掲載されませんでした。不手際をお詫びするとともに、「編集方針」を本会のウェブページおよび会誌62-2号に掲載することをお知らせいたします。

▶ <http://pesj.jp/publication/>

▶ <http://pesj.jp/kaishi/henshuhoushin.pdf>

2014年4月 編集委員会

参考書・教科書に！ぜひご利用ください

E.F.Redish著・日本物理教育学会監訳「科学をどう教えるかーアメリカにおける新しい物理教育の実践ー」(丸善出版)が、大変好評を得て発売されています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

http://pesj.jp/doc/per_book2013.pdf

物理教育研究メーリングリスト(ML)が設定されています

この物理教育研究MLは、本会正会員(学生会員を含む)であればどなたでも参加できます。

参加を希望する会員は、subject欄に「per-ml参加申し込み」、本文として、日本物理教育学会会員番号と氏名を記載したe-mailを、MLへの投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

[per-ml-adm\(at\)pesj.jp](mailto:per-ml-adm(at)pesj.jp) ただし、(at)は@で置き換えて下さい。

また、このMLの詳細については次のウェブサイトを参照してください。 http://pesj.jp/research/ml_per

[事務局より] ニュースレターで広報したい行事などありましたら、4月15日までに news(at)pesj.jp ((at)は@で置き換えてください)へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明

編集：日本物理教育学会ニュースレター編集委員会

発行日：2014年4月7日